

對馬問答

乾

和装本

ケ 5

44

80





大坪本流對馬問答乾

- 糸乃ノ曰馬毎ニ底迄解ル手細ク可乗五
- 方ノ口シ川如何程モ退ラカヌ時ハ陰ス
- 口顯レ心モ智ル也
- 幸ノ云心ヲ乗吏過物ハ乗人ノ心ニヨル
- へレ上ノ心騷ク馬ニ恐テハ獨驛ハ也遠
- 山ヲ詠テ心空ノ居木ニ置テ閑ナ
- ハ馬静也但レ鞞手細鐘聴卜楯工へレ

○ 国忠ノ云馬ノ術多ト云ハ此馬ノ心ヲ  
 能ク覺乗変事一也心モ知ス馬ニ乗テ  
 早ク足ヲ出シ逆ヒテ乗ヘカラス心  
 ヲ知スニ逆ヒテハ静ヘル者又ナシ足ヲ出  
 シタル馬心昏ル物ナレハ乗様心得ハ  
 ○ 秀ノ曰返コリテ對答シスヘキ者足不揃前  
 曲シレテ乗人ヲ騁ウハ返報口スハレハ惡  
 敷ハ口ニ當リ足惡敷ハ足ニ對答スヘシ以後曲

出テテ直ル也但シ違キモ惡シ亦曲ヤ出  
 ントテ早ク當ルモ惡敷也對答スヘキ節  
 大事

○ 隨テ隨エサル 口傳

○ 勝テ勝サレ 口傳

○ 秀ノ曰隨テ能所モ有負テ曲ヲ為モ有  
 キメ子ハ侮リ不直モ有去ハ隨ルニモ有不  
 隨ニモ有勝テ不勝ト云モ同前然トイハレ也

し認有口傳

○ 利ヲ仕タル馬ニ乗人ヲ改テ吉落馬仕  
タル乗人を改テ可也庭モ利ヲ仕タル所

改テ乗レシ口傳

○ 大角ノ変

口傳

○ 小角ノ変

口傳

○ 幸ノ云右心ラス馬ニ吉過物ノ口入手綱也  
左へ成居右へ成居乗人得手タル方一

首ヲ折籠テロシ引ヘシ右へ折ハ左へ乗  
ハツシ外ノ手綱ニテ馬ヲ拍へ内ノ手綱  
ニテ鞍下一首ヲ強ク折籠ユルリツシ  
テ退カスヘシ頭ヲ深ク折タルヲ大角  
ト云少折タルヲ小角ト云也但シ退  
気有過物ニハ悪カルヘシ

○ 專シ牙ニ懸ル馬シハ 示乃ハ父母ニテ  
乗玉フ 幸ハ連波シ乗也 幸ノ曰懸誥

タルシ取ハ廻之様ニ奪シ拔取也右へ  
シ引へシ能々ハツル也但シ牙ニ懸  
テモ詔ノ有へキ馬ニテナクハ懸サ  
セ置テモ吉アトカ午ニハワシタカル  
ニヨリ驛ル馬静マル事ナレト因忠ノ  
曰レシ也

○ 横歩ノ馬ニ九折九折ノ可乗口傳馬横  
ニテラハ早ク横ニ為如此不逆レテ

何時迄モ九折ノ乗ハ馬後ニ退屈シテ  
直ニ行物也直ニ乗ントスルニヨリテ乗  
人遂テ直ニ行ス心得ヘシト秀ノ云  
○ 扣テ立又馬ノ事幸ノ云細道テ扣ル  
ニ横立危キ時ハ退カシ三足モ四足乗出  
レ退カレ幾度モ如此乗ハ立留ル也  
○ 口懸敷馬乗直サント思フ内ニ足ヲ  
出スヘカラスロヲ能々引テモ足ヲ

出セハ本ノ口ニ成者也能々直リテ後  
足ヲ出スヘシト秀ノ云

○ 国忠ノ云口ヲ捨テ足ヲ乗テ馬ニヨルハ  
シ心賢ク足餘ル馬ハ場シ近ク可乗細  
々廻シテ乗ニヨリ餘ル事ナシ亦馳モ  
ナク離タル馬ハ緩々ト遠ク乗ヘシ

○ 鞍玉ニ取ルシ彦秀ノ曰鞍玉ニ取レシト  
スルニヨリ猶取ル也以方ヨリ鞍玉

ヲ取ヘシ亦躍々シ乗ニモ乗人ヨリ  
鞞心得ヘシ

○ 大過物ニ乗彦秀ノ曰鞍下手ノ内鑑心返  
清ク拘ヘ一向ニ手廻モ乗ス馬ノ働ク様  
ニ隨テ乗ヘシ静ニル也可秘シ

○ 秀ノ曰静ナル所ニテ口ヲ引テ過物驛  
ル時ハ右ノ如ク手廻モナレト心得テ静  
マリテ後手廻リ知セヘシ以心持ナリ

子個ハ驛ル時ノ爲ト心得テ乗ニヨリ馬静  
カナラス

○ 幸ノ去過物ヲ乗納テ下ル時四足ヲ立替  
立替踊ル事有ヘシ其時馬ヲ引返シテ下  
又者也静ナリテ下ヘシ

○ 心長ク可乗又大過物直ラ又トテ退屈ス  
ヘカラス心長クロシ川ヘレニ三度乗テ馬ノ  
口是水ノ見ル事有ヘカラスト忠云

○ 幸ノ回下乗ト云夏ハ過物ニ限リテノ事  
明日何方ヘモ乗ニハ今日能ロク引置ヘ  
シ必ス其徳可在也忠ノ云過サル馬成モ  
下乗ハ馬毎ニスヘキト也

○ 鞍敷ヲ乗ト云夏ハ馬敷ヲ鞍敷ト云  
幸ハ過物ニ取テ云口ヲ引遣納テ扣ヘ休  
メ汗シ少入亦静々トウテ出シ乗ト也  
如坎乗ハ一足シ一日ニ三度モ重ク乗タ

ルニ當ル也

○心ヨリ口惡敷成直口モ心也ト幸ノ云ニ既ニラ

惡敷ロツ直シテモ兼直スト云ハシ

○口ヨリ心惡敷成直口惡敷故ニ口ニ引レ心モ

惡敷可成ロツ直サハ心モ直ルヘキト国

忠云

○秀ノ曰是成事ハ是成凡是成又事ハ是成

ヌト右一ヨリ傳へ乘ル也有増ハ筆紙ニ印

ス馬ノ口似タル様ニ覺テモ別成所有物也

爰ツ以テ是成ハ足成凡是成スカ手觸モ

當流ノ外色々可有也因忠ノ云尤各別

成事可在シカハアレト同手觸ツ以テ

同身ツ乘ニ上手ト下手トノ徳ニ依テ其

身ノ位有ヘシ然者是成スト可心得

○大幕ノ直  
口傳

○小幕ノ直  
口傳



○ 幸ノ玄馬引テ行時手綱ニテ留シテハ時  
 青袍ヲ頭ニテ掛レハ留ル也大成物ヲ掛  
 ルシ大幕ト云小物ヲ掛ルシ小幕ト云也  
 ○ 黄昏手繩之夏右同馬ニ用引時左右  
 手ヲ差出し左ノ手細シ右へ取有  
 手綱シ左へ取遠手綱シ短ク取七十  
 シ鼻リワラノ上ニ當リシメ手綱  
 取タル手ニテ左右ノ目シ強ク可押止ル也

○ 片川井手綱之夏右同馬ニ用引時右ノ手綱シ  
 拾立髪ノ上ヨリ右ノ手ヲ指延左ノ引手  
 際ノ手綱シ取双シ左へ折付鞆ノ根ニ引  
 詰止ル也左右乗人ノ得手ニ可依也  
 ○ 諸川井手綱之夏右同馬ニ用引時手  
 綱シ髪中ニ左右十カラ捨下リタル手  
 綱シ平着ノ下ヨリ右ノ手ヲ差出し左  
 手綱シ右へ引取左右ノ手ニテ引レ

○ 返レ送ル手綱之事馬驛リ危キ時ハ返ラ  
 カレテ静ニ安セ可乗静ナル也但レ一廻  
 廻シテ返ラカレ乗テモ吉可心得常ニ馬  
 シ勝目ニハ折下廻スト返ラカストナリ  
 シカハアレト特目同敷所ニテ特目テ  
 ハ却テ他ニ成変存唯執者古工夫肝要  
 也ト秀ノ云

- 六隅ノ事
- 漣波ノ事
- 君不知ノ事
- 虎川ノ事
- 持川ノ事
- 直川ノ事
- 迷ラシ絡川ノ事
- 馬毎ニ六ノ隅肝要也漣

也。做ハ連收ハ木ノ荒鐘リ新ラ子ノ心得  
ナリ口強ク乘悪キシ連收ニテ摩込如キ  
後虎引ノ手綱ヲ可乗退カス支ヲ云扱  
君不知シ乗也片手綱ヲ云両手ニテハ  
左右同意ニ成難シ手ノ裏ニテ十文字ニ  
透ラ取也。倅始成口ニ隨ヒテハ君下知能  
也。綴ハ鉈掛テモ村有シ能見テ琢カ  
如シ持リトハ渡レ手促ノ如シ左右一引

張口ヲ免テス能拘エルシ云第一口ヲ搖  
リ專ナラヌ支口ノ毒也強口ニ當レハ猶  
強ク成者也弱口ニ痛ム故ニ惡敷也本  
来弱クモナク強クモナキ口ニ何ノ爲ニ  
專シ柱ハスヘキヤ殊ニ弱口ニ鑿シ免サス  
口ニ腹ト當リ諾テ乗ハ其專ニ懸リカシ  
得テ能歩ハし弱口ハ痛ムニヨリ當サ  
レハ心能思キテ痛直ル也亦強口ニモ鑿

シ當ハ詰テ置ハ馬<sup>會</sup>狩<sup>シ</sup>レテ免ス也口ノ  
 内強キ所直ルヘシ直リトハ唐ノ摩捺也  
 鑑中シ直ニウキタルシ云也連ラント  
 ハニ乗知スレテ上悪中好下用ニテ口ヲ  
 引覺テ乗事也去ハ口ヲ知スレテ乘  
 難シ連波ハ初摩引ト名付君不知ハ遠  
 引ト名付迷スハ絡引同断

當流宗師

日本武尊

迎奉原

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎

義家

六條判官

為義

湯山入道中原

玄性

大坪流

大坪式部大輔

富秀

村上賀賀守

永幸

有藤備前守

国忠

有藤守基守

好玄

有藤備後守

忠玄

有藤有宮頭

辰遠

丹別住僧了慶坊

有藤求馬

辰光

有藤主稅

定易

大塚本流

有藤守基

